

## オンリーワンの環境試験機で 産業界の技術開発を支援する立役者

スガ試験機株式会社

2020年1月、スガ試験機は創業100周年を迎えた。ピーカー、メスシリンダー、pHメーターなど理化学機器メーカーとしてスタートし、第二次世界大戦後の日本の産業復興と軌を一にするように環境試験機分野に参入し、今では国内外で1000社超のユーザーを抱え、14年には経済産業省の「グローバルニッチトップ企業100選 選定企業」に選ばれた日本を代表する環境試験機メーカーだ。

### ◎ユーザーに合わせてカスタマイズした試験機を送り出す

日照、降雨、降雪、塩分、摩擦など、日々使用される素材や機器は産業用や生活用を問わず、さまざまな過酷環境にさらされる。スガ試験機ではこれらの環境を再現し、金属や繊維、樹脂などの耐久性を短時間で試験できる装置を開発製造する。世界にはさまざまな環境試験機メーカーが存在するが、耐候、腐食の両方を試験できる環境試験機メーカーは同社のみ。その組み合わせはユーザーに合わせてカスタマイズできる。カタログ掲載品は同社製品の一部に過ぎない。リチウムイオン2次電池を使う自動車業界、化学、工業材料、鉄鋼、大学、公設試験研究機関などユーザーは極めて幅広く、環境試験装置が関係しない産業分野はないというユーザー層の広がり、同社の将来性を揺るぎないものになっている半面、それに応えるきめの細かい装置開発が求められる



スーパーキセノンウェザーメーターSX75。  
太陽光の約3倍の高照度でより早く試験結果が得られる

#### ● 社是・理念

技術先行型の会社として Team SUGA で“あるべき試験機”を追い求めていく

- 変化するお客様のニーズに、的確に、スピーディに対応する
- 日本発の国際基準の試験規格作りへ、積極的に参画し、日本の立場を世界に主張する
- ウェザリング技術を通じ、社会に貢献する試験機を創る



代表取締役社長  
須賀 茂雄 氏

●長寿の秘訣

「知識はインターネットでの検索でも得られるが、試験機は知恵でできている。知識を知恵にしないと。それにはモノづくりへの思いが必要だ」と社長の須賀茂雄氏は社員に訴えかける。試験機械は学問であること。これも同社が貫く姿勢であり、公益財団法人スガウエザリング

技術振興財団を設立してウエザリング技術の更なる普及・発展に努めるなど、「思いを持って追求する。試験機はこうあるべき」を実現させようとしている。社長自ら国際標準化関連の会議にも積極的に参画しており、社会基盤を支えるためになくてはならない技術を打ち立てている。



2018年に完成した新しい本社ビル（東京・新宿）

えてきている。グローバル展開の中では、古くから中国、韓国、台湾、最近ではタイ、ベトナムなどの国々に納入しているが、更に米国、欧州のシェアも高まってきている。個々のユーザーのニーズから出発して標準の製品にしていく取り組みが、信頼を勝ち取っている。



さまざまな腐食試験規格に対応する複合サイクル試験機CYP-90

耐候試験で使われるキセノンランプを、電極から自社で製造するなど、一から試験機づくりができることも強みだ。キセノン光による耐候性試験は現在、スーパーキセノン（高照度試験）という試験装置を市場に投入している。これはより短時間で劣化を促進させる試験で、ISO（国際標準化機構）規格にも採用されている。また、カーボン電極から発せられる光によるカーボンアーク試験装置は、現在は世界でも同社だけが提供する。

海外展開は、日系企業の海外進出とともに拡大し、海外政府機関の研究施設や現地企業への納入事例も増